

【選択領域】試験一括型

| 主な受講対象者 | 小・中（家庭科）・高（家庭科） | | 履修対象職種 | 教諭 |
|------------------------------------|---|--|--------------------------------------|----|
| 開設講習名 | 【選択】家庭科（衣・住・消費および家族・保育分野） | | | |
| 開設日 | 令和3年（2021年）8月20日（金） | | | |
| 担当者 | 1限 財津 庸子（教育学部教授） 2限 都甲 由紀子（教育学部准教授） 3限 齊藤 友子（教育学部講師） 4限 川田 菜穂子（教育学部准教授） | | | |
| 履修認定試験＜試験一括型＞ （4限終了後に試験を実施します。） | | | 試験時に配布資料・ノートの参照：可 （タブレット端末の参照は不可） | |
| 1限 (9:00～10:15) | 消費生活分野(財津 庸子) 1. 学習指導要領の改訂点及び消費者教育推進法の施行もふまえた家庭科における今後の消費者教育のあり方(消費者市民教育)について解説する。 2. 消費生活分野の学習内容について、小中高の系統性について考察する。 | | | |
| | 担当講師からの連絡事項等 | ご自身の所属校種の新学習指導要領と家庭科の教科書を持参してください。 | | |
| 2限 (10:30～11:45) | 衣生活分野(都甲 由紀子) 1. 現代における衣生活の問題点について検討し、「豊かな衣生活とは」について考える。 2. 小中高学習指導要領の衣生活の教育内容について解説する。 3. 衣生活の教育に関する実践例や教材を提示する。簡単な刺繍の実習をする。 | | | |
| | 担当講師からの連絡事項等 | ご自身の所属校種の新学習指導要領と家庭科の教科書を持参してください。刺繍針や材料等はこちらで用意しますが、使い慣れたものがあればお持ちください。 | | |
| 3限 (12:45～14:00) | 家族・保育分野(齊藤 友子) 1. 現代社会における家族の変化を歴史的変遷から捉えなおし、多様化する家庭生活、家族の基本的な機能とは何かについて考える。 2. 幼児の発達や生活の特徴を示し、幼児とのふれあい体験学習の意味や、課題について解説する。 3. 家庭と地域が協働し地域社会をつくる活動について紹介し、家庭科教育におけるこれからの家庭と地域の課題について考える。 | | | |
| | 担当講師からの連絡事項等 | ご自身の所属校種の新学習指導要領と家庭科の教科書を持参してください。 | | |
| 4限 (14:15～15:30) | 住生活分野(川田 菜穂子) 1. 学習指導要領の住生活の内容について解説する。 2. 家庭科における住教育実践の実態と課題を把握し、対応策を検討する。 3. 快適で安全な住まいづくりに関する理解を深め、暮らしのなかで実践する力を養うための方法について検討する。具体的な住教育の実践例や教材等を紹介する。 | | | |
| | 担当講師からの連絡事項等 | ご自身の所属校種の新学習指導要領と家庭科の教科書を持参してください。 | | |
| (15:45～16:45) | 履修認定試験 | | | |